

浦尾社長のコラム



ようやく痛いような暑さから解放されましたが、
まだまだ残暑が続いております。
あと少し、対処に気を抜かないで下さいね。

掲示していたように、山陽道の大きな死亡事故2件に禁錮刑が出ていましたね。
運行がきつくて、うとうとして…。ペットボトルを拾おうとして…。
7月の阪神高速の死亡事故は、携帯電話を拾おうとして…。

浦尾は3人の言い訳を信じておりませんが、皆さんも、そうでしょうか！？
3人とも、「家族を守るため」、「生活を守るため」に、頑張っていた同業者です。
こんな結果になるとは、考えもしていなかった人達です。
私たちは、この結果を考えて、行動しましょうね。

浦尾が細かいことに執着するのは、
『割れ窓（ブロークンウィンドウ）理論』って云うのを信じているからです。
また、変なの持ち出して、聞いたこと無いよねえ。

概要は、「小さな犯罪も徹底的に取り締まることによって、凶悪犯罪をも防止できる。」と云う考え方の事です。

- ・ 駐車違反を徹底して取り締まることで、街の犯罪が減少したケース。
- ・ 地下鉄に描かれた落書きを徹底的に消すことで、
地下鉄内での他の犯罪が減少したケース。

等々

ゴミが何もなかった場所に、最初にゴミを置くことは勇気がいるでしょう。
ですが、1つでも置いてあれば「ここはゴミを置いていい場所なんだ」と、
認識してしまいます。

⇒そこにゴミを置くことに、良心が傷まなくなります。
「皆がやっているんだから、大丈夫。」と。
それが、『割れ窓理論』です。

東京ディズニーランドで、
徹底的にゴミの回収をしているのは有名な話ですが、
それも、この『割れ窓理論』に基づいた対策です。



5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）、凡事徹底も同じ対策ですよ。
お願いしますね！！